

1. 研究課題名

レブラミド®(レナリドミド)を使用する多発性骨髄腫患者における静脈血栓塞栓症リスク因子の探索

2. 試料・情報

(1) 利用目的

多発性骨髄腫（たはつせいこつずいしゅ）は、血液の病気の一つで、この病気を持つ方は血のかたまり（血栓）が血管に詰まる「静脈血栓塞栓症（VTE）」を起こしやすいことが知られています。特にサリドマイドやレナリドミドといった薬（免疫調節薬）を使うと、血栓のリスクがさらに高まることがあります。血栓ができると、命に関わる危険性もあります。血栓を防ぐために、予防薬（アスピリンやヘパリンなど）が使われますが、どの薬が最も良いかはまだはっきりしていません。また、欧米の患者さんと比べて、日本人を含むアジア人は血栓ができにくいとも言われていますが、日本人の多発性骨髄腫の患者さんでの詳しい実態はよく分かっていません。そこで私たちは、当センターで新たにレナリドミド治療を始めた日本人の多発性骨髄腫患者さんについて、どのくらい血栓が発生しているのかを調べます。また、血栓ができた方とできなかった方の違いを比較して、血栓ができやすい人の特徴（リスク因子）を明らかにすることを目的としています。

研究期間は承認日から 2026 年 12 月 31 日までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2020 年 1 月から 2024 年 12 月の間に、多発性骨髄腫に対してレナリドミドの投与を受けられた方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、レナリドミド治療開始から発症した静脈血栓塞栓症(VTE)の有無、年齢、性別、身長、体重、血液凝固に関わる検査値(FDP、D-dimer)、腎機能などです。利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 薬剤部 加藤淳平（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL：03-3400-1311 FAX：03-3409-1604

担当：薬剤部 加藤淳平